

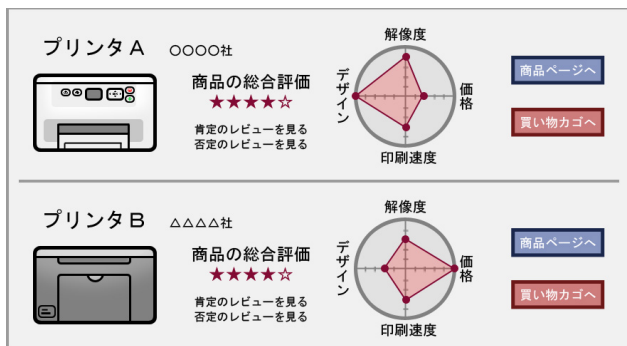
ネットショッピングサイトの商品レビューを利用したジャンル毎の評価軸の自動構築とその応用

沼尾研究室 金兵裕太



研究の概要

- ◆ 近年、商品レビューを始めとする、消費者によって形成されるビッグデータ(CGM)は膨大なものとなっています。
- ◆ **評判分析**(感情分析)は、レビューが示す感情(肯定・否定)を分析することで、**効果的な情報推薦**を可能にします。
- ▶ 本研究では、商品レビューの情報を集約することで、**ユーザの商品選択を支援するシステム**を作成しています。

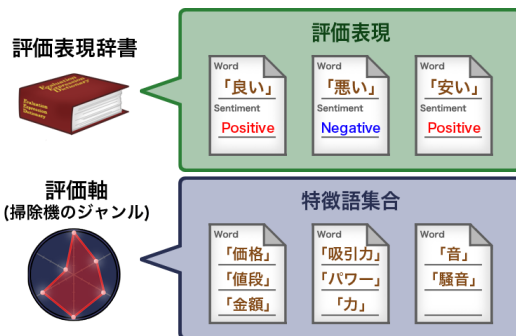


評価表現辞書と評価軸

「掃除機」や「プリンタ」等のジャンル毎に語彙を学習します。

- ◆ **評価表現辞書**
ジャンルにおける肯定語と否定語の語彙集。
- ◆ **評価軸**
ジャンルにおける評価指標。特徴語の集合として定義。

▶ **商品ジャンルに適した評価軸**を自動的に設定でき、レーダーチャートによる可視化が可能に！



提案システムの流れ

- ◆ あるジャンルの**商品レビューの集合**と**少数の種語**を入力として与えるだけで、**語彙情報を学習**できます。
- ◆ ユーザが商品を選択すると、**学習した語彙情報**を利用してレビューを分析、**評価の可視化**を行います。



具体的な処理

- ◆ 文章内の語句の結び付きを**係り受け解析**で分析し、少数の語句から語彙を拡張します。

解析結果の例

価格が **すごく安く**て **嬉しい**

「安い」が肯定語だと分かっている場合...

- ◆ 形容詞「嬉しい」は**肯定語**の可能性が高い！
- ◆ 名詞「価格」は**特徴語**の可能性が高い！

今後の展望・課題

◆ 将来の生活を豊かにする技術

提案手法の入力はレビュー集合と少数の種語だけであるため、**あらゆるテキストに対して適用可能**です。今後もCGMは増え続け、**効果的な要約や情報推薦技術**がますます重要になっていきます。この研究を進歩させることで、**将来人々の生活を豊かにできる技術**に繋がると考えています。

◆ 現状の成果と課題

現状では、レーダーチャート可視化システムが完成したほか、評判分析の精度評価で**平均80%の正解率**を達成しています。しかし、現状の手法では抽出できない評価情報もあり、課題は多いです。今後は課題を一つずつ解決することで、システムの改善に取り組んでいきます。

